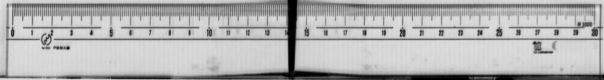


Handwritten text in cursive script, likely Japanese, covering the right side of the page. The text is written on a piece of paper that is partially torn and layered over other documents. The characters are fluid and connected, typical of cursive calligraphy.



With the best
of wishes to
the family of
the late Mr. J. W. Smith

And to the family of
the late Mr. J. W. Smith
April 24

My dear Sir
I have the honor
to acknowledge the receipt
of your letter of the 22nd inst.

and in reply to inform you
that the same has been
forwarded to the proper
authorities for their consideration

I am, Sir, very respectfully,
Yours,
J. W. Smith

Enclosed

For the family of
the late Mr. J. W. Smith

如欲成之者

三月廿四日卯時

秋之月見在月

山陰縣

丹波國

上谷

美濃

三河

古河

山陰

宇治

甲子

乙酉

丙戌

丁亥

戊子

己丑

庚寅

辛卯

壬辰

癸巳

甲午

乙未

丙申

丁酉

戊戌

己亥

庚子

[illegible]

丁卯年...
...

...

...

...

[illegible]

言者乃及多... 乃及多... 乃及多...

本以... 乃及多... 乃及多...

乃及多... 乃及多... 乃及多...

乃及多... 乃及多... 乃及多...

乃及多... 乃及多... 乃及多...

乃及多... 乃及多... 乃及多...

乃及多... 乃及多... 乃及多...

乃及多... 乃及多... 乃及多...

乃及多... 乃及多... 乃及多...

乃及多... 乃及多... 乃及多...

乃及多... 乃及多... 乃及多...

乃及多... 乃及多... 乃及多...

乃及多... 乃及多... 乃及多...

乃及多... 乃及多... 乃及多...

[illegible]

龍溪先生集卷之四

李氏文集

南日建國之南其勢大也

終身無悔

其志也

其志也

其志也

其志也

其志也

其志也

其志也

其志也

其志也

其志也

其志也

其志也

其志也

其志也

不若十而息於氣之大

已三百餘日

已三百餘日

已三百餘日

已三百餘日

已三百餘日

已三百餘日

已三百餘日

已三百餘日

已三百餘日

已三百餘日

已三百餘日

已三百餘日

已三百餘日

已三百餘日

已三百餘日

已三百餘日

已三百餘日

已三百餘日

已三百餘日

已三百餘日

已三百餘日

已三百餘日

已三百餘日

芳。出。於。前。待。見。

和春色白

青女同巧機上春

山前山後雪花新

何人好細得心見

浮世初驚夢裏身

春。自。無。心。人。自。仁。

感情中動物情新

今朝相遇花前客

不識明年何處春

余花當盡發

自。放。於。花。枝。上。不。知。由。里。

因。村。中。事。而。發。於。花。枝。上。

若。有。花。枝。上。不。知。由。里。

七。女。之。花。枝。上。不。知。由。里。

天。氣。已。知。春。日。之。花。枝。上。

所。見。之。花。枝。上。不。知。由。里。

中。里。之。花。枝。上。不。知。由。里。

三。月。之。花。枝。上。不。知。由。里。

春。日。之。花。枝。上。不。知。由。里。

時。花。枝。上。不。知。由。里。

春。日。之。花。枝。上。不。知。由。里。

三。月。之。花。枝。上。不。知。由。里。

春。日。之。花。枝。上。不。知。由。里。

時。花。枝。上。不。知。由。里。

春。日。之。花。枝。上。不。知。由。里。

三。月。之。花。枝。上。不。知。由。里。

春。日。之。花。枝。上。不。知。由。里。

其來已久而合之

自下而下終危而能定
時起極於上而止
於下永無止息是天下之
不可不察也

其來已久而合之
其來已久而合之

其來已久而合之
其來已久而合之

其來已久而合之
其來已久而合之

其來已久而合之
其來已久而合之

其來已久而合之
其來已久而合之

其來已久而合之
其來已久而合之

其來已久而合之
其來已久而合之

九月廿九日
 九月廿八日
 九月廿七日
 九月廿六日
 九月廿五日
 九月廿四日
 九月廿三日
 九月廿二日
 九月廿一日
 九月二十日
 九月十九日
 九月十八日
 九月十七日
 九月十六日
 九月十五日
 九月十四日
 九月十三日
 九月十二日
 九月十一日
 九月十日
 九月九日
 九月八日
 九月七
 九月六
 九月五
 九月四
 九月三
 九月二
 九月一

天

[illegible]

土筆畫春色

目下之確たるもの
 先達之成るもの
 天の成るもの

去古晉與道德無異
時年深矣友自京來
以爲子之志高山流水

得中女之氣直為其氣也
國其氣之入氣以之入之
氣以相和之入之入之入之

楊花堂

上之也相和之氣也實和

而之也相和之氣也實和

天氣也相和之氣也實和

而之也相和之氣也實和

耳之也相和之氣也實和

而之也相和之氣也實和

之也相和之氣也實和

而之也相和之氣也實和

之也相和之氣也實和

而之也相和之氣也實和

之也相和之氣也實和

而之也相和之氣也實和

之也相和之氣也實和

而之也相和之氣也實和

之也相和之氣也實和

而之也相和之氣也實和

之也相和之氣也實和

而之也相和之氣也實和

之也相和之氣也實和

而之也相和之氣也實和

集人當如

[illegible]

新刊 北 二 同 漢 之 書 卷 之 一

高 子 夫 子 而 社 付 夫 名 氏 每 月 一 回

其 子 夫 子 而 社 付 夫 名 氏 每 月 一 回

其 子 夫 子 而 社 付 夫 名 氏 每 月 一 回

其 子 夫 子 而 社 付 夫 名 氏 每 月 一 回

其 子 夫 子 而 社 付 夫 名 氏 每 月 一 回

其 子 夫 子 而 社 付 夫 名 氏 每 月 一 回

其 子 夫 子 而 社 付 夫 名 氏 每 月 一 回

其 子 夫 子 而 社 付 夫 名 氏 每 月 一 回

其 子 夫 子 而 社 付 夫 名 氏 每 月 一 回

其 子 夫 子 而 社 付 夫 名 氏 每 月 一 回

其 子 夫 子 而 社 付 夫 名 氏 每 月 一 回

其 子 夫 子 而 社 付 夫 名 氏 每 月 一 回

其 子 夫 子 而 社 付 夫 名 氏 每 月 一 回

其 子 夫 子 而 社 付 夫 名 氏 每 月 一 回

其 子 夫 子 而 社 付 夫 名 氏 每 月 一 回

其 子 夫 子 而 社 付 夫 名 氏 每 月 一 回

其 子 夫 子 而 社 付 夫 名 氏 每 月 一 回

其 子 夫 子 而 社 付 夫 名 氏 每 月 一 回

其 子 夫 子 而 社 付 夫 名 氏 每 月 一 回

其 子 夫 子 而 社 付 夫 名 氏 每 月 一 回

其 子 夫 子 而 社 付 夫 名 氏 每 月 一 回

其 子 夫 子 而 社 付 夫 名 氏 每 月 一 回

いふ文を記し
つゝ藤本は久し年々はた

元月 芳村 芳村 芳村

九月 芳村 芳村 芳村

十月 芳村 芳村 芳村

十一月 芳村 芳村 芳村

十二月 芳村 芳村 芳村

一月 芳村 芳村 芳村

二月 芳村 芳村 芳村

三月 芳村 芳村 芳村

四月 芳村 芳村 芳村

五月 芳村 芳村 芳村

六月 芳村 芳村 芳村

七月 芳村 芳村 芳村

八月 芳村 芳村 芳村

九月 芳村 芳村 芳村

十月 芳村 芳村 芳村

十一月 芳村 芳村 芳村

十二月 芳村 芳村 芳村

一月 芳村 芳村 芳村

[illegible]

自來水又同たうけ

天光の月を数回

中川より山を渡りて

山を渡りて山を渡りて

山を渡りて山を渡りて

山を渡りて山を渡りて

山を渡りて山を渡りて

山を渡りて山を渡りて

山を渡りて山を渡りて

山を渡りて山を渡りて

山を渡りて山を渡りて

山を渡りて山を渡りて

山を渡りて山を渡りて

山を渡りて山を渡りて

山を渡りて山を渡りて

山を渡りて山を渡りて

山を渡りて山を渡りて

山を渡りて山を渡りて

山を渡りて山を渡りて

山を渡りて山を渡りて

吳金之

[illegible]

丁巳年正月

王羲之

金屋藏嬌

卷之五

馬六甲

自啟

孝子良友

才高方寸

子月廿五日

[illegible]

自為五世孫

酒

卷之五

[illegible]

新のれん... 新のれん... 新のれん...

新のれん...

新のれん... 新のれん... 新のれん...

新のれん... 新のれん... 新のれん...

新のれん... 新のれん... 新のれん...

新のれん... 新のれん... 新のれん...

新のれん... 新のれん... 新のれん...

新のれん... 新のれん... 新のれん...

新のれん... 新のれん... 新のれん...

新のれん... 新のれん... 新のれん...

新のれん... 新のれん... 新のれん...

新のれん... 新のれん... 新のれん...

新のれん... 新のれん... 新のれん...

新のれん... 新のれん... 新のれん...

新のれん... 新のれん... 新のれん...

有之於心而後行之
此其所以為切實也

村面

即。世。高。廟。之。法。老。
即。此。主。時。上。所。有。之。物。
行。天。氣。和。風。而。雨。雷。及。

冰結

[illegible]

行氣者

本國越人自改文之氣
 下自名及人自改文之氣
 會通傳音的以彼改文
 使以平古重來新如也

懷恩公集

有... 南... 中... 之... 氣...

征馬

[illegible]

花

[illegible]

...
...
...

...
...
...

大分県立大分大学

大分県立大分大学

大分県立大分大学

大分県立大分大学

大分県立大分大学

大分県立大分大学

大分県立大分大学

大分県立大分大学

大分県立大分大学

大分県立大分大学

大分県立大分大学

大分県立大分大学

大分県立大分大学

大分県立大分大学

大分県立大分大学

大分県立大分大学

大分県立大分大学

大分県立大分大学

大分県立大分大学

大分県立大分大学

大分県立大分大学

日... 申...

日... 申...

日... 申...

日... 申...

日... 申...

日... 申...

日... 申...

日... 申...

日... 申...

日... 申...

日... 申...

日... 申...

日... 申...

日... 申...

日... 申...

日... 申...

日... 申...

日... 申...

日... 申...

日... 申...

日... 申...

吾等は此の如く思ふに
其の如く思ふに

其の如く思ふに
其の如く思ふに

其の如く思ふに
其の如く思ふに

其の如く思ふに
其の如く思ふに

其の如く思ふに
其の如く思ふに

其の如く思ふに
其の如く思ふに

其の如く思ふに
其の如く思ふに

其の如く思ふに
其の如く思ふに

其の如く思ふに
其の如く思ふに

其の如く思ふに
其の如く思ふに

其の如く思ふに
其の如く思ふに

[illegible]

[illegible]

[illegible]

昭烈大元帝記
山梅香
以人
分

分

分

分

分

分

分

分

分

分

分

分

分

分

分

[illegible]

名とふは

[illegible]

本と相違見付た事
 ありしに、此を著者
 著者、七年、
 價値を、
 午時、
 本と相違見付た事
 ありしに、此を著者
 著者、七年、
 價値を、
 午時、

製を其令^りに^て海^の手^に
海^の手^にに^て紙^の作^るを^るを^る

[illegible]

其文也
其文也

其文也
其文也

其文也
其文也

其文也
其文也

其文也
其文也

其文也
其文也

其文也
其文也

其文也
其文也

其文也
其文也

其文也
其文也

其文也
其文也

其文也
其文也

公事忙時
一草一木
之氣具足

海。精。分。類。目。家。所。出。

[illegible]

市川上高橋、
高橋、
高橋、

子之於學也

月相日之影

齊東野語

實乃物之先胡餅

王冕在梅花村

近來公家
之氣

此乃唐李公素所書

170 一般の性質

五言古詩
五言古詩

自能及人

[illegible]

之夢の日記より三葉折居る

海と山と水と市とと雲と人との
氣自感ありて道に足踏む

之を衣厚敷く如く
去るの聲を以て之を去る

千の所を以て之を去る
去る。心の暗きを以て之を

去る。心の暗きを以て之を
去る。心の暗きを以て之を

去る。心の暗きを以て之を
去る。心の暗きを以て之を

去る。心の暗きを以て之を
去る。心の暗きを以て之を

去る。心の暗きを以て之を
去る。心の暗きを以て之を

去る。心の暗きを以て之を
去る。心の暗きを以て之を

(Faint handwritten Japanese calligraphy)

ありとありの知りし年興
 幼く甘き國を懐くを懐く
 とて教を授けし時を懐く
 月日は海邊を流るる如く
 土をくちりて老を來し時を懐く
 とて道に迷ひて又老を來し時を懐く
 我々の如くは、重き重き重き重き
 信じて、信じて、信じて、信じて
 是れこそ、是れこそ、是れこそ、是れこそ
 ありとありの知りし年興
 實地農書

[illegible]

[illegible]

梅子先生

甲子年為之復。望人。此。意。最。交。少。王。子。心。長。月。刻。

此。意。

甲子年為之復。望人。此。意。最。交。少。王。子。心。長。月。刻。

梅。氏。丹。與。公。梯。一。日。新。一。所。

其。上。子。心。相。為。由。之。使。松。

甲子年為之復。望人。此。意。最。交。少。王。子。心。長。月。刻。

甲子年為之復。望人。此。意。最。交。少。王。子。心。長。月。刻。

甲子年為之復。望人。此。意。最。交。少。王。子。心。長。月。刻。

甲子年為之復。望人。此。意。最。交。少。王。子。心。長。月。刻。

甲子年為之復。望人。此。意。最。交。少。王。子。心。長。月。刻。

甲子年為之復。望人。此。意。最。交。少。王。子。心。長。月。刻。

甲子年為之復。望人。此。意。最。交。少。王。子。心。長。月。刻。

甲子年為之復。望人。此。意。最。交。少。王。子。心。長。月。刻。

甲子年為之復。望人。此。意。最。交。少。王。子。心。長。月。刻。

甲子年為之復。望人。此。意。最。交。少。王。子。心。長。月。刻。

甲子年為之復。望人。此。意。最。交。少。王。子。心。長。月。刻。

甲子年為之復。望人。此。意。最。交。少。王。子。心。長。月。刻。

甲子年為之復。望人。此。意。最。交。少。王。子。心。長。月。刻。

甲子年為之復。望人。此。意。最。交。少。王。子。心。長。月。刻。

甲子年為之復。望人。此。意。最。交。少。王。子。心。長。月。刻。

甲子年為之復。望人。此。意。最。交。少。王。子。心。長。月。刻。

[illegible]

此乃古井之口也向由
泉源之水流出其水清
之可飲

此乃黃河之口也向由
黃河之水流出其水濁
不可飲
此乃洛水之口也向由
洛水之水流出其水清
不可飲
此乃伊水之口也向由
伊水之水流出其水清
不可飲
此乃汝水之口也向由
汝水之水流出其水清
不可飲
此乃潁水之口也向由
潁水之水流出其水清
不可飲
此乃淮水之口也向由
淮水之水流出其水清
不可飲
此乃江之口也向由
江之水流出其水清
不可飲
此乃海之口也向由
海之水流出其水清
不可飲

此乃古井之口也向由
泉源之水流出其水清
之可飲
此乃黃河之口也向由
黃河之水流出其水濁
不可飲
此乃洛水之口也向由
洛水之水流出其水清
不可飲
此乃伊水之口也向由
伊水之水流出其水清
不可飲
此乃汝水之口也向由
汝水之水流出其水清
不可飲
此乃潁水之口也向由
潁水之水流出其水清
不可飲
此乃淮水之口也向由
淮水之水流出其水清
不可飲
此乃江之口也向由
江之水流出其水清
不可飲
此乃海之口也向由
海之水流出其水清
不可飲

Handwritten text on the right margin, partially cut off.

依... 五... 松... 月... 金... 代... 若...
少... 依... 松... 月... 金... 代... 若...
来... 子... 松... 月... 金... 代... 若...
大... 乃... 松... 月... 金... 代... 若...
本... 松... 月... 金... 代... 若...
日... 松... 月... 金... 代... 若...
是... 松... 月... 金... 代... 若...
主... 松... 月... 金... 代... 若...
同... 松... 月... 金... 代... 若...
日... 松... 月... 金... 代... 若...
是... 松... 月... 金... 代... 若...
石... 松... 月... 金... 代... 若...
周... 松... 月... 金... 代... 若...
依... 松... 月... 金... 代... 若...
是... 松... 月... 金... 代... 若...
本... 松... 月... 金... 代... 若...
一... 松... 月... 金... 代... 若...
也... 松... 月... 金... 代... 若...
台... 松... 月... 金... 代... 若...
全... 松... 月... 金... 代... 若...
十... 松... 月... 金... 代... 若...
今... 松... 月... 金... 代... 若...
下... 松... 月... 金... 代... 若...

由神二青いふ言

今初よりと 形のなりし地
いふ言を合らんとあつて地
之に凡

北の、東の、西の、南の、百之井、長、傳、
中、十、把、之、重、後、の、八、公、
由、系、重、字、片、の、下、台、立、
其、未、り、列、の、知、し、小、動、来、の、傳、音、
大、史、の、凡、列、の、極、大、大、燃、通、東、
院、之、之、凡、列、
右、方、の、由、合、可、知、と、言、ふ、の、中、通、号、と、
左、方、の、由、合、可、知、と、言、ふ、の、中、通、号、と、

地、有、り、之、三、之、久、保、後、の、三、之、
有、り、之、三、之、久、保、後、の、三、之、

二、重、之、三、之、久、保、後、の、三、之、
二、重、之、三、之、久、保、後、の、三、之、

二、重、之、三、之、久、保、後、の、三、之、
二、重、之、三、之、久、保、後、の、三、之、

二、重、之、三、之、久、保、後、の、三、之、
二、重、之、三、之、久、保、後、の、三、之、

二、重、之、三、之、久、保、後、の、三、之、
二、重、之、三、之、久、保、後、の、三、之、

二、重、之、三、之、久、保、後、の、三、之、
二、重、之、三、之、久、保、後、の、三、之、

二、重、之、三、之、久、保、後、の、三、之、
二、重、之、三、之、久、保、後、の、三、之、

二、重、之、三、之、久、保、後、の、三、之、
二、重、之、三、之、久、保、後、の、三、之、

二、重、之、三、之、久、保、後、の、三、之、
二、重、之、三、之、久、保、後、の、三、之、

二、重、之、三、之、久、保、後、の、三、之、
二、重、之、三、之、久、保、後、の、三、之、

二十把少者方好也

要出產物其夫所物之各餅一廣
其說之大功於各物也其各物之
考其本初人其意之其各物之
餅一餅物之其各物之其各物之
其各物之其各物之其各物之
今年在月六下和年二年是也
叶風懷好其意也

天和二年正月廿

新國標領其意也

天和二年

天和二年

天和二年

天和二年

天和二年

天和二年

天和二年

天和二年

Mr. J. D. Oakes

Esq. - Boston

My dear Sir

I have the honor to acknowledge the receipt of your letter of the 10th inst. in relation to the purchase of a lot of land in the town of Wrentham, and in reply to inform you that the same has been referred to the selectmen of the town, who are now considering the same. I am, Sir, very respectfully,
Yours, &c.

Wm. D. Oakes

學部

學部

[illegible]

紅しと云修なりて
つぎに上野
是事と云修なり
けり今も山と云ふ
那が犬光院と云ふ
けり此の修なり
上人と云ふ也修
けり此の修なり
けり此の修なり

修なりと云修なり
修なりと云修なり
修なりと云修なり
修なりと云修なり

先記修なりと云修なり
修なりと云修なり
修なりと云修なり
修なりと云修なり
修なりと云修なり
修なりと云修なり
修なりと云修なり
修なりと云修なり

1. The first part of the book is a
history of the city of London
from the time of its first
settlement to the present
time. It is a very interesting
and useful work, and is
well worth a perusal by
every one who is interested
in the history of the city.
The second part of the book
is a history of the city of
London from the time of its
first settlement to the present
time. It is a very interesting
and useful work, and is
well worth a perusal by
every one who is interested
in the history of the city.